

相談支援係  
072-941-3365

情報チーム  
072-943-5785

研究研修係  
072-943-5784

教育センター  
Web page は  
こちらから



## 講師のための基本研修①

令和4年5月6日(金)午後3時45分～午後5時に講師のための基本研修①を行いました。研修講師は教育政策課古海裕士指導主事で、研修テーマは「サービスについて」でした。

受講記録票への入力は研修用タブレットで配付されたワークシートのQRコードからURLを読み取って行いました。学校での使用場面も多いようで、スムーズに実施できました。

＜受講者感想＞

- ・自分自身の行動等をきちんと見直し、常に周囲から見られているという意識を強く持ち、行動する必要があると感じた。
- ・信用失墜行為や守秘義務について認識を新たに、自分だけではなく周囲も注意を呼びかけていこうと思った。
- ・「社会人として」の項目で学んだことを、謙虚な気持ちで実践していきたい。

### 次第

1 開会

2 講義

『教職員の服務・規律について』

～不祥事予防に向けて～

八尾市教育委員会

教育政策課 古海 裕士 指導主事

3 閉会

## 5年経験者研修②



端末を並べて班別会議の様子を確認

令和4年5月10日(火)午後3時～午後5時に中堅教職員等資質向上研修の一環で5年経験者研修を行いました。研修はオンライン(リアルタイム)で行いました。研修講師は本センターの鈴木雅博指導主事が行い、中堅教員として学校の中心になっていくことや若手教員の悩みを聞いたり成長を支えたりすることの大切さについて講義をしました。受講者それぞれ、採用されて4年が過ぎ若手教員から中堅教員となる過程で、初任期から様々な経験を積んできました。同一校に勤務している人もいれば、転勤して2校目に勤務する人もいます。本市では5年目の教員と経験年数の浅い教員を一組にしてメンタリ

ングという手法を使って人材育成を行っています。5年経験者をメンター(助言をする側)、メンティー(助言を受ける側)として、対話や助言によって気づきを与えたり動機付けしたりすることでメンターとメンティー双方が成長し学校の組織力を高めることをねらいとしています。同じ職場で仕事をしながら行うもので、一方的に指導を行うというのではなく、共に考えながら課題を解決し、教員として社会人としての資質向上をめざしています。

＜受講者感想＞

- ・こんどは自分が若い先生の育成をしていく立場になっていかなければいけないということを実感できた。特に後輩育成をし、学校の組織力がアップするようにしたいと思った。

- ・教員としても、メンターとしても、傾聴の姿勢が重要であるということを確認できた。
- ・同僚性の高い職場を維持・推進できるよう、さらに円滑なコミュニケーションを図っていきたい。
- ・初任者の頃、たくさんの先輩方に支えていただいたなと改めて実感した。
- ・まだまだ5年目でこんな自分が先輩になっていいのか？とも思ったが、5年間経験してきたというのは変わらない事実なので、5年目研修を機に自信をつけていけたらと思った。

## 教頭研修



令和4年5月11日（水）午前9時30分～午前11時30分に教頭研修を行いました。研修はオンライン（リアルタイム）で行いました。研修講師は放送大学の中川一史教授で研修テーマは『協働的な学びとICT活用について』です。

中川先生から各教科におけるICTを活用した実践事例を紹介していただき、個別最適な学びや協働的な学びについて考えを深めることができました。また端末使用に目的意識をもつこと、端末使用がゴールではなく、うまく生かすことが大事である等を学びました。

### <受講者感想>

- ・ICTの積極的活用を職員に働きかけていくことの大切さを、改めて認識することができた。
- ・本校は積極的にICTの活用を行ってきたが、さらに学力向上に繋げていきたい。今日の研修でICT活用時間と学力向上の相関関係は理解できたので、手法を検討しながらさらに積極的活用をすすめていきたい。
- ・中川先生の「今までの当たり前を疑ってみる」という話が印象に残った。今は学校の在り方を見直すフェーズに入っていると感じる。学校全体でICT活用に取り組んでいきたい。

## 第3回初任者研修



令和4年5月12日（木）午後3時30分～午後5時に第3回初任者・新規採用者研修を行いました。研修講師は本センター川村泰司指導主事です。研修テーマは『授業づくり1ー学習指導要領に基づいた授業／児童生徒主体の授業づくり／道徳の授業』です。交流タイムでは、生き生きとした意見

交流が行われ初任者のみなさんの熱意を感じました。マスクをして表情が分かりづらいという面もありますが、やはり対面の話し合いは盛り上がりました。

研修は下記内容のレジюмеに沿って行いました。

1. 学習指導要領に基づいた授業づくり
2. 児童生徒主体の授業づくり（「大阪の授業STANDARD」等を使って）
3. 具体的な授業例（ユニバーサルデザイン等）
4. 道徳の授業（目標・指導案・評価等について）



### <受講者感想>

- ・1か月経っての悩みを交流するなかで、同じ2年生担当の先生が持っている悩みがとても共

感でき、有意義な時間になった。

- ・今日の研修で初めて『逆向き設計の授業づくり』を知り、とても勉強になった。今まではめあてを考えて、そのめあてを達成できるように授業の導入から始めていた。しかし、途中で行き詰ってしまうこともあった。ゴール（振り返り）を意識して順路を考えるという方法をこれから実践していきたい。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した授業をしていくことで、指示の工夫や、授業の流れを考えたい。

## 保育のための基本研修①



令和4年5月13日（金）午後3時～午後5時に保育のための基本研修①を行いました。場所は大畑山青少年野外活動センターです。研修講師は大畑山青少年野外活動センターの川上結香さんです。テーマは『春の自然であそぼう』です。当日は生憎の雨でしたが、活動センターのピロティやテントなどで様々な自然を使ったアクティビティを行いました。

### <受講者感想>

- ・雨の中であったからこそ経験できたこともあったので良かった。
- ・シャボン玉遊びでは、自然物を使って探す、試すを何度も繰り返し、出来た時の感動がとても大きかった。
- ・自然を使った遊びを体験出来て、よい教材研究になった。
- ・「森のすみか」では、図工と生活をミックスして、校庭でも楽しめそうだった。ぜひ子どもとやってみたい。
- ・「森の福笑い」では、「目」を付けるだけで想像が膨らみ、大人でも夢中になれる内容だった。校内でもいろんなものに「目」を付けて子どもたちと楽しんでみたい。
- ・自園では樹木など自然物は少ないが、葉っぱ1枚でも遊べる方法を知ることができて良かった。



## 特別支援教育コーディネーター研修②



令和4年5月16日（月）午後3時30分～午後5時に今年度2回目の特別支援コーディネーター研修を行いました。研修講師は兵庫教育大学の小川修史准教授で、講義テーマは「支援教育におけるICT活用について」です。

講義中に受講者が「カメラ・スマホ等撮影は自由」ということで、気に入ったスライドは「SNSの“いいね！”感覚でお

撮りください。」とのことでした。支援を必要とする子どもたちのモチベーションを高めるICTの活用等について講義されました。

＜受講者の感想＞

・子どもの「すごい！」か「かっこいい！」  
「いいね！」をいっぱい見つけて幼児期に「できた！！」「楽しい！！」「もっとやりたい！！」という意欲を生み出していきたいと思った。

(こども園保育教諭)

・ICT はただ便利なツールというだけではなく、ワクワクを生み出すツールであるということがよく分かった。

(中学校教諭)

・ICT を子どもたちの成功体験を積ませるために活用するということが理解できた。

(小学校教諭)



## 校長研修

令和4年5月26日(木)午前9時～午前11時30分に校長研修を行いました。研修講師は関西大学の小柳和喜雄教授です。研修テーマは「小中一貫教育について」です。小柳教授には本市の小中一貫教育について平成30年度の準備期間よりご指導いただいています。

最初に令和3年3月の中央教育審議会答「『令和の日本型教育』の構築を目指して～すべての子どもたち



の可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」よりこれから我々学校教育に携わる者が進むべき方向について多面的なご示唆をいただきました。

次に小中一貫教育に関するアンケート(児童・生徒・教職員対象)の分析を交え、本市が取り組んできた小中一貫教育の成果とこれからの課題をご講義いただきました。

## 2年次研修(令和3年度初任者研修第20回)



令和4年5月27日(金)午後3時～午後5時に2年次研修を行いました。これは令和3年度の初任者研修の第20回に位置付けられています。研修講師は桃山学院教育大学松久眞実教授です。講義テーマは児童生徒理解を深めるために「1年間を見通した学級経営の道筋」です。



### <受講者感想>

- ・静かにしなさいと叱るのではなく、静かな雰囲気を作る仕組みと学級経営のフェーズについて今までなんとなくとらえていたものを明確に言語化できた。
- ・秩序のフェーズの3本柱をこれから意識し、ここから土台を作っていこうと思った。
- ・まずは、子どもに「ほめてもらいたい」と思ってもらえるような信頼関係を築くことと聞いて、その通りだと感じました。



## 研究協力員第1回全体会と各部会



所長の挨拶

令和4年5月30日(月)午後4時～午後5時に研究協力員第1回全体会と第1回各部会をweb(リアルタイム)で行いました。研究協力員は八尾市教育振興基本計画の基本理念に基づき、そのめざす子ども像である「未来を切り拓く、チャレンジする『八尾っ子』」の育成のため、教職員の教科指導等の指導力向上を目的としています。今後各部会で教育委員会担当者とともに積極的な研究活動を行い、その成果を3学期には研究紀要に掲載するとともに「研究成果報告会」で報告することになっています。昨年度からは各部会をweb上で開催するなど様々な場面でICTが有効に活用されています。

## 第4回初任者研修(水泳指導)



令和4年6月2日(木)午後2時45分～午後5時に八尾市立屋内プール(「しぶき」)で水泳指導研修を行いました。「しぶき」の指定管理会社である株式会社オーエンスの山蔦友美講師他2名のコーチによる指導のもと、安全に水泳指導を行うための研修を実施しました。受講者は研修に先立ってオンデマンドで水泳指導に関する動画をすでに視聴しています。

最初に水難救助の実演指導が行われました。教科・校種に関係なく、どんな場面で水難に遭遇するかわかりません。「声

掛け」「引上げ」等の要領について説明がありました。

泳法講習では、基礎コース・クロールコース・平泳ぎコースに分かれて、約30分ずつ入れ替わりました。安全対策の他、児童生徒にどのように指導するとよいか等について丁寧な指導が行われました。

### <受講者の感想>

- ・溺れてる人の救助の仕方を実際に見ることができてすごく勉強になった。水から引き上げる前に水の中で意識の確認をするなど、はじめて知ることができてよかったです。
- ・水泳の泳法指導は段階的におこなっていくということが実感できた。特に、水慣れについては、あまりどのように指導するか実践する機会が少ないと思うので、とても参考になった。



・下手に補助しようとするすると逆に生徒を危険な目に合わせてしまいかねないので、補助の流れをしっかりと把握することと生徒のニーズに合わせて行動していくことが大切だと思った。

## 小中一貫教育担当者研修①

令和4年6月3日（金）午後3時～午後5時に本センターにて小中一貫教育担当者研修①を行いました。研修講師は本センター鈴木雅博指導主事です。研修テーマは「令和4年度以降の小中一貫教育推進事業の取組みについて」です。八尾市は令和元年度より3年間全中学校区で小中一貫教育に取り組んできましたが、令和4年度からは今までの取組みを生かした活動を行っていきます。今回はこれまでの3年間の成果と課題を検証し、これからの小中一貫教育について考えるための研修



です。座席は中学校区ごとに分かれ、個人での思考、校区での討論、その結果について全体で交流しました。課題別の討論では「中一ギャップ」について討論・交流を行いました。

＜受講者の感想＞

- ・中学校区での小中一貫推進プロジェクト会議の準備を行っていたところで、この場で先に話し合える時間が作れてよかった。1小1中の強みの部分を活かして、ここ数年コロナによって奪われた取り組み時間を取り戻していこうと思う。
- ・他校区の実践事例を知ることができたのはとても参考になった。特に「靴をそろえるんジャー」のキャラクターが子どもたちに合いそうだったと思った。ぜひわが校区でも提案してみたい。

## 通級による指導担当者研修



令和4年6月3日（金）午後3時30分～午後5時に本センターにて通級による指導担当者研修②を行いました。研修講師は一般社団法人発達支援ルームまなびの今村佐智子理事です。今村理事は特別支援教育士スーパーバイザー（S.E.N.S.S.V）、臨床心理士でもあります。研修テーマは発達障がいをもつ子どもへの支援～通常の学級・通級指導教室での支援～です。

## 5年経験者研修③



令和4年6月7日（火）午後3時～午後5時、本センターにて5年経験者研修③を行いました。研修講師は大阪大谷大学今宮信吾教授です。研修テーマは「ロジカルシンキング研修 課題解決につながる考え方を答えのない世の中で課題解決を求めて教師として生きるために」です。

### <受講者の感想>

- ・ロジカルシンキングとラテラルシンキングのバランスを意識することで、自分の考えが整理しやすくなったと思った。その上で、両方のバランスを取っていくことが必要だと感じた。
- ・チャートをどのようにしたら効果的に活用することができるのかを知ることができたので、これからの業務にいかしていきたい。



## 教育長によるオンライン学習の視察

令和4年6月8日（水）午後、浦上弘明教育長が市内小学校の学級閉鎖中のクラスで行われているオンライン学習の様子を視察されました。本市では昨年度よりオンライン学習等実施のための研修や試行をすすめ設備等の整備も行い、本年5月より全校において同時双方向型のオンラインを活用した学習指導を行う準備が整っています。

国語の授業で、担任の先生は同時双方向型のオンライン学習の実施は初めてです。児童の端末で音声がかえれないというトラブルに対しては画面を通じて指示を出す等の工夫を行いました。黒板も使って漢字の学習を行いました。

子どもたちは先生との学習ができたことに喜びを感じるとともに、直接会うことができないクラスの友達とオンラインを活用して会話できたことに感動している様子でした。



いつもの教室に端末をセットしての授業



## 教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は5月から6月に入った雑誌の誌名と目次の一部を紹介いたします。

「指導と評価」（日本教育評価研究会）6月号  
・特集 いま求められる教員研修とは

「道徳教育」（明治図書）6月号  
・特集 心理学×道徳授業  
道徳授業に生きる心理効果&心理テクニック  
心理学的アプローチ×道徳授業

「月刊学校教育相談」（ほんの森出版）6月号  
・特集1 保護者との対応で心をすり減らさないために  
・特集2 通級や支援級と通常の学級との連携の鍵

「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）6月号  
・特集 徹底解説!!「生活単元学習」「作業学習」の本質と魅力

「初等教育資料」（文部科学省編集、（株）東洋館出版社発行）6月号  
・特集Ⅰ 学習評価の課題と改善②  
・特集Ⅱ 「国語」伝え合う力を高め自分の思いや考えを  
表現することのできる「書くこと」の授業改善

「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）6月号  
・特集 STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進

教育科学「国語教育」（明治図書）6月号  
・特集 国語授業がもっとうまくなりたい！—名人へのステップアップ  
「授業デザイン」「授業テクニック」「授業アイテム」「授業アイデア」

教育科学「社会科教育」（明治図書）6月号  
・特集 授業DXで実現する 個別最適な学び×探求授業

「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）6月号  
・特集 算数の「個別最適な学び」をいかに描くか

